

4.4 アプリケーションパスワード

先進認証に対応していないアプリケーション(Outlook2013、Thunderbird 等)や Outlook2016 を Exchange 以外の接続の種類 (POP や IMAP など) で使用している場合 (詳細は「4.6 Outlook2016 のメールの接続の種類の確認」をご参照ください。) に多要素認証が有効であるユーザーでサインインする場合、「アプリケーションパスワード」を使用します。

アプリケーションパスワードは多要素認証設定時に発行されますが、別のアプリケーションパスワードを作成したり、削除したりすることもできます。

4.4.1 アプリケーションパスワードの作成方法

アプリケーションパスワードを作成する手順は以下の通りです。

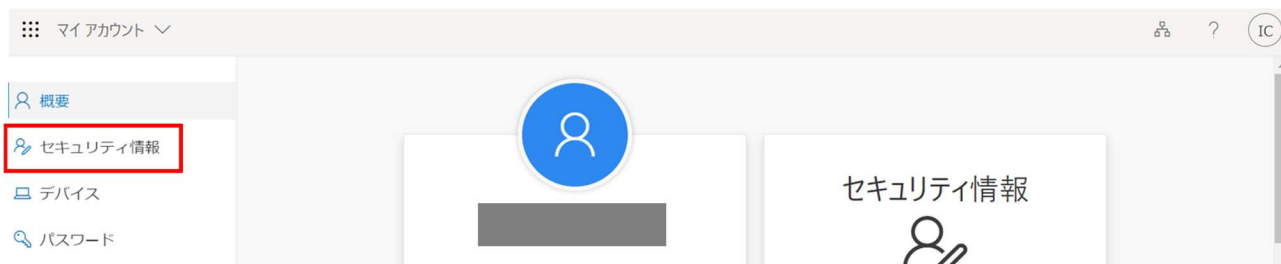
- ① 本学の Office 365 画面を表示します。



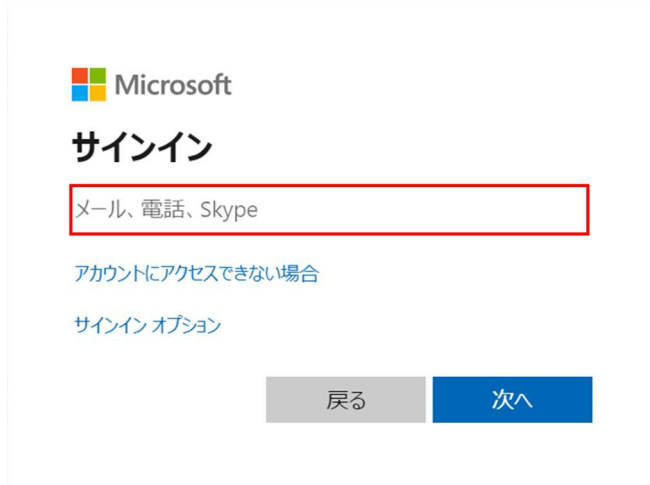
- ② 画面右上のユーザーアイコンをクリックした後、画面右下に表示された「アカウントを表示」をクリックします。



③ 「マイアカウント」画面が表示されたら、左メニューの「セキュリティ情報」をクリックします。



④ 「サインイン」画面が表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力します。



⑤ 「セキュリティ情報」画面が表示されたら、「方法の追加」をクリックします。

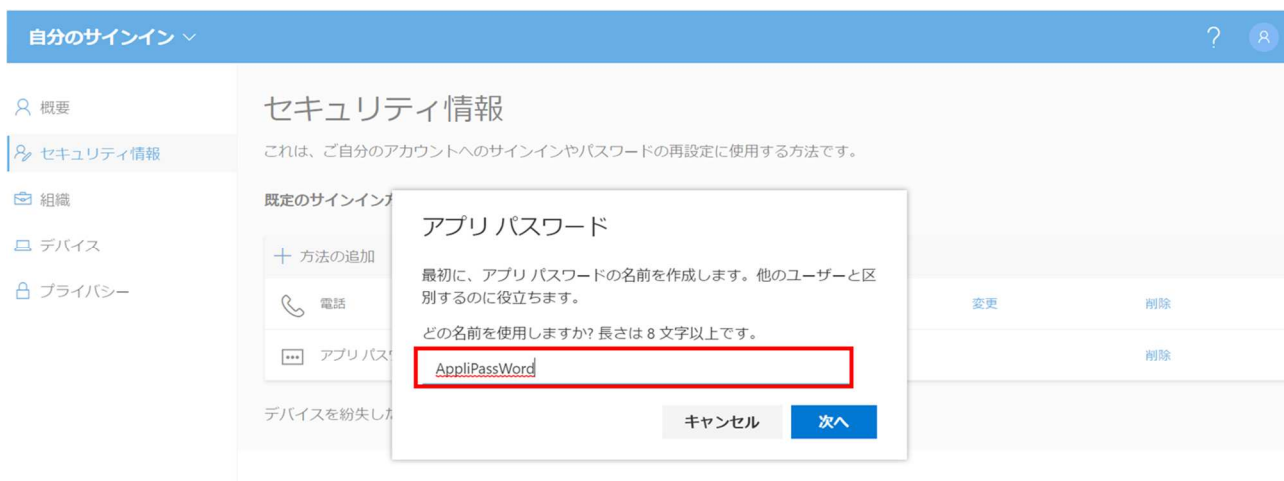


⑥ 「アプリパスワード」を選択し、「追加」をクリックします。



⑦ アプリケーションパスワードの名前を入力し、「次へ」をクリックします。

※ 本画面では一例として、「AppliPassWord」と入力しています。



⑧ 以下の画面が表示されたら「パスワード」横のコピーマークをクリックし、アプリケーションパスワードをコピーし、「完了」をクリックします。

※ 本画面以降、生成されたアプリケーションパスワードを確認することはできません。メモ帳などに保存してください。



4.4.2 アプリケーションパスワードの削除方法

アプリケーションパスワードを削除する手順は以下の通りです。

- ① 「アプリケーションパスワード」画面を開き、削除したいアプリケーションパスワードの右に表示される「削除」をクリックします。



- ② 以下の画面が表示されたら「OK」をクリックします。



- ③ 「アプリケーションパスワード」画面に戻り、選択したアプリケーションパスワードが削除されていることを確認します。

